

発言通告書の要旨(一般質問)

平成26年第1回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
3月10日 (月)	1	10 丸戸研二	1、統合後の小学校施設の利用について	(1)施設利用の検討に対する基本的考え方は (2)地域の意見聴取と意見反映は (3)施設別の個別条件にはどのように対処するのか
			2、農業振興策について	(1)国、県、市、JAなどの関係組織間の連携体制は (2)生産者(農家や農業団体など)との連携は (3)農業全体の底上げと、やる気のある者に対する対応への考え方は (4)特産物創出や6次化に対する取り組みは
			3、財田診療所の今後について	(1)医師確保の方策は (2)現在の診療体制は、どう変わろうとしているのか (3)地域の声、患者の声は把握できているのか (4)次なる体制への大まかなスケジュールは
3月10日 (月)	2	4 石井勢三	1、産業振興・三豊の物産の販売促進について	緊急雇用対策事業としてオープンしたマリンウェーブ横のみとよ商店の、今後の営業が、この3月末に閉店となる計画のようであるが、小さいながらせっかく三豊市内の物産が、一箇所に集まり、やり方次第では、今後大きな可能性があると思われる。各企業としては、自己の商品のアピールの場、販路拡大に期待していると思われるが、市としては今後どのように考えているのか伺う。
	3	3 市川洋介	1、市長の施政方針において特に「しゃべる」英語力の向上を図るについて	(1)なぜ「しゃべる」英語力が必要と思われるのか?をお聞きしたい。 (2)どのように方法で「しゃべる」英語力の向上を図るのか?をお聞きしたい。 (3)三豊市においてA. L. T. の先生の選考基準と現状でのA. L. T. の先生が足りているのかをお聞きしたい。 (4)インタラック社をご利用なさっているようだが、メリット・デメリットについてお聞きしたい。
3月11日 (火)	4	2 大平敏弘	1、三役4年間の退職金	行政改革の観点から退職金額及び受け取る大義をどう考えているか
			2、待機児童0作戦みとよは可能なのか	重点施策の子育て支援の大きな柱として取り組んでいく考えはあるのか
			3、デマンドタクシー	(1)コミュニティバスの利用が少なく廃止地域に対する公平施策について (2)無理して走らせているところもデマンド化が望ましくはないか

発言通告書の要旨(一般質問)

平成26年第1回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
3月11日 (火)	5	11 川北善伴	1、的場排水機場の現状について	平成23年5月25日付けの地元住民からの排水ポンプの整備と増設に関する要望書に対する調査報告書内容への質問 (1)ポンプ性能の実機検証の有無について (2)調査検証時の条件設定について ①時間経緯に合わせた流域全体の保水能力を加味したものかどうか ②平均雨量と短期集中との違いが排水能力に影響することを加味したものかどうか
			2、古浜、浦浜両排水機場の現状について	田畑冠水や住宅浸水等の水害を誘引する要因と地区内環境変化の関連性について (1)地域環境変化を考慮した現状の調査実施の有無について
			3、投票区の再編と投票率について	投票区再編実施地区の投票率への影響の有無を問う
	6	14 西山彰人	1、市民の意見反映について	選挙で、給食センター、保育所・幼稚園の定数、永康病院の充実を訴えて当選させていただいたが、改めて、市民の意見反映について伺う
			2、労働政策について	先日、全日本港湾労働組合から申し出があったと思うが、三豊市の対応を伺う
			3、耕作放棄地対策について	施政方針に、農業振興計画を策定し、耕作放棄地対策に取り組むとうたっているが、その対策が明記されているか。また、農作物は「人の命」であり、商品として扱うべきでないと考えているが、市長の見解は？
			4、公平委員会委員の選任について	公平委員は、公平性を保つために労働者の推薦する者を一人は任命すべきと思うが見解は
			5、市が管理するトイレの洋式化・水洗化について	トイレの洋式化・水洗化については、施設の管理者がそれぞれ進めていると聞くが、計画的統一的に実施を早める考えはないか
	7	20 近藤久志	1、三豊市水道自己水源の維持と今後の取り組みについて	(1)現在、取水されている、自己水源の実績と将来見込みについて (2)自己水源水質(原水と浄水)と水質検査結果と水質検査計画について (3)自己水源浄化施設の改修計画について (硝酸態窒素・亜硝酸態窒素、耐塩素性病原微生物クリプトスポリジウム等の対策も含め)

発言通告書の要旨(一般質問)

平成26年第1回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
3月11日 (火)	8	19 城中利文	1、空き家対策	(1) 三豊市の現状について (2) 空き家バンク制度(H24.4.14発足)の成果について
			2、太陽エネルギー政策	(1) 仁尾小の体育館、仁尾支所、中学校に設置したソーラー発電の現状について (2) 今後公共施設の設置に伴い、ソーラー発電は設置していくのか
			3、保育所の職員数	(1) 正職員不足により、生じる問題点について (2) 臨時職員が全責任を任されている現状 (3) 職員と臨時職員(パート職含)同じ仕事内容で給料が安い
	9	6 水本真奈美	1、消防団の処遇改善について	本市の消防団支援法に基づく地方交付税が適切に使用されているのか、交付税と使用の取り組み、また消防団員の処遇について
			2、公共施設管理と公会計の充実について	(1) 本市のこれまでの会計制度改革の取り組みの経過とその効果と課題 (2) 単式簿記、現金主義による単年度公会計の問題点と原価償却の考え方を取り入れた発生主義の複式簿記を導入の考え (3) 財政の見える化による公共施設の管理、再配置の取り組みについて
			3、教育について	小学校の英語教育取り組みと国語教育の充実について 読書通帳の導入で読書力の向上について
	10	1 岩田秀樹	1、消費税増税の影響とその対策は	市民の負担増大や業者の滞納発生額の拡大の中、消費税増税は輸出還付金を受ける大企業の増大が想定される。市内業者・市民の8%への消費税増税に対する影響はどう考えているか。また、対策はどう考えているか。
			2、人間ドッグの一部補助制度を明確にし、1泊コースと脳ドッグの新設を	人間ドッグに対する国保加入者に対する補助制度を明確にすべきであると思う。そして脳血管症などの不安解消のための脳ドッグ、1泊2日コースの新設などを検討してほしい。
			3、市内全学級においての少人数学級の実現を	学級の人数が20人位の適正規模が、授業もわかりやすく、学級の荒れも少ないといわれている。市内学校には、1クラスの生徒数に格差が生じている。これを解消すべく、すべての小中学校での30人以下学級の実現を実現してほしい。そして、単クラスと複数クラスの学校間格差解消を実現してほしい。
			4、国と市の責任で介護の保障を	地域の中でも家庭内の老々介護が増大の中、介護保険法が改定されようとしている。改定されるとヘルパーによる「訪問介護」とデイサービスなどの「通所介護」の要支援向けサービスが自治体で実施する「総合事業」に置き換わることになる。介護の社会化として創設された14年前にも反するが三豊市はどう考え、どう対応しようと思っているのか。